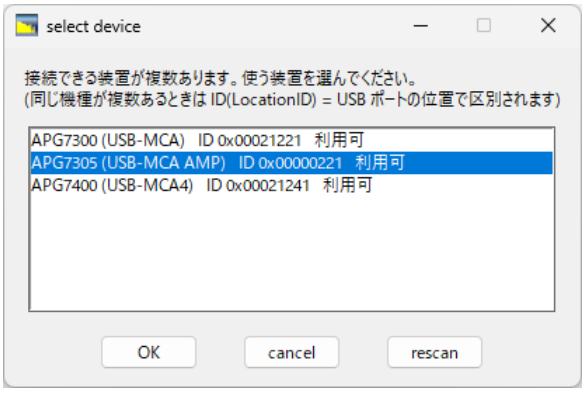
USB-MCA シリーズ用 Python アプリケーションβ版

当社では、長年ご提供してきた LabVIEW 版アプリケーションを、Python で再作成しました。
従来の LabVIEW 版が備えていた機能に加え、さまざまな機能も追加しています。

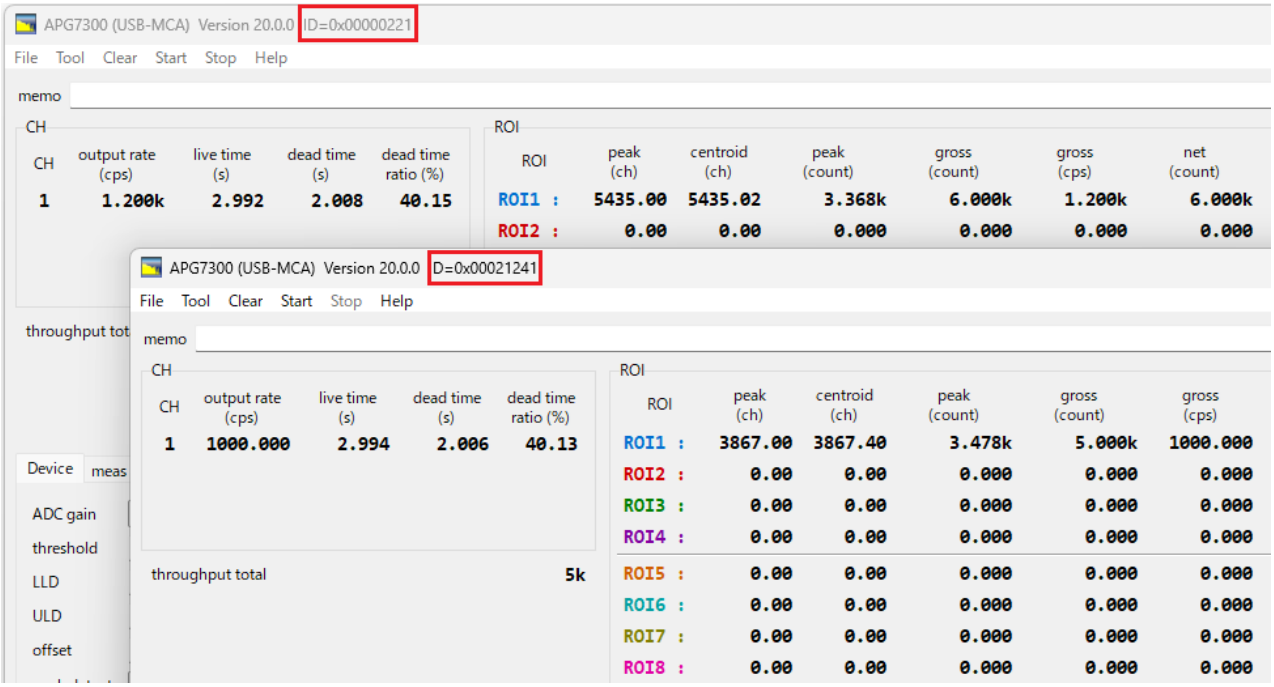
・マルチデバイス対応

一つのアプリケーションで、USB-MCA シリーズの全機種（APG7300、APG7302、APG7305、APG7400）に対応しています。
次回のアプリケーション起動時に、前回使用していた機種が接続されていれば、その機種の画面で起動します。別の機種が接続されているときも、機種を自動で判別し、その機種の画面で起動します。
複数の機種が接続されているときは、選択画面で選べます。



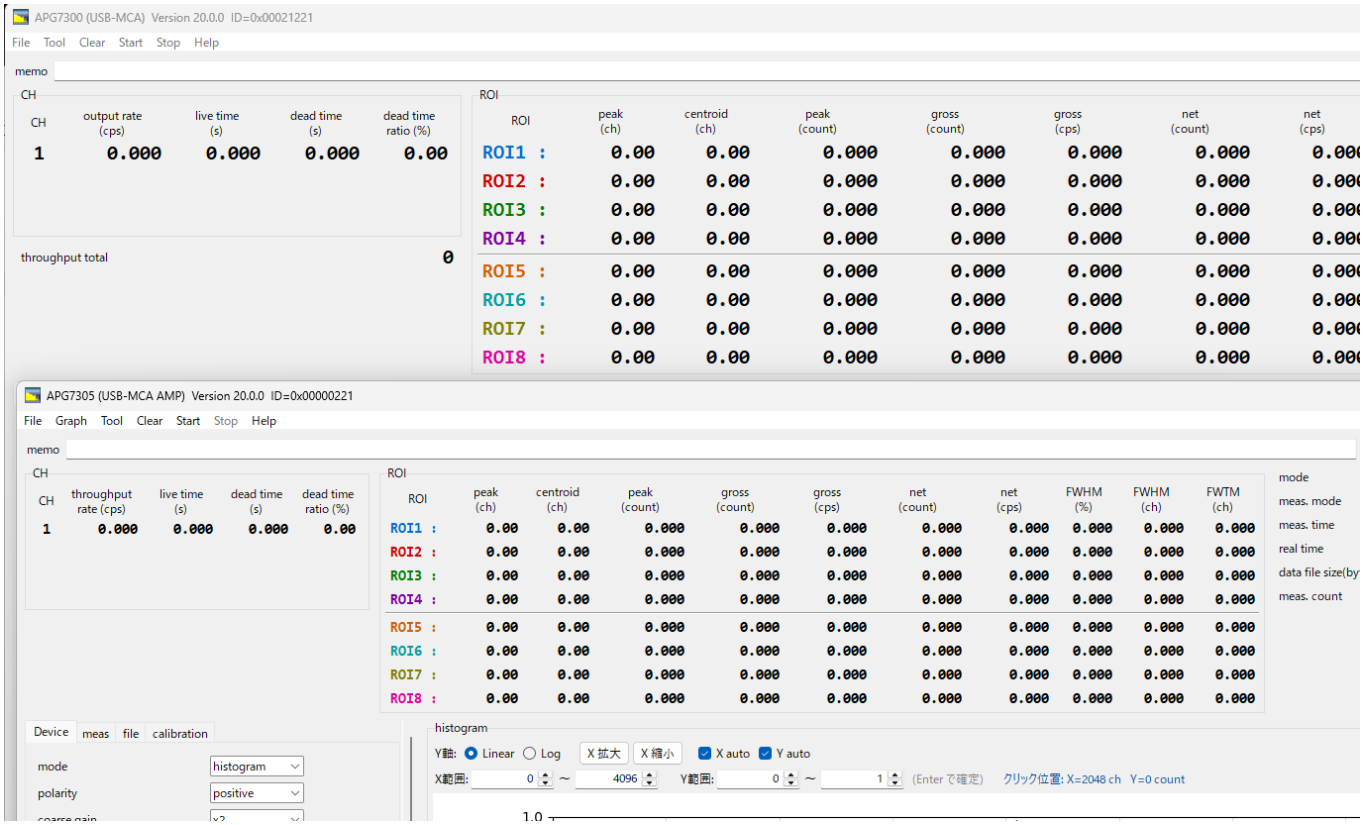
・複数台対応

同一機種であっても複数台接続でき、それぞれを別のウィンドウで操作できます。
どの装置がどの画面に対応するかは、タイトルバーと画面下部のステータスバーに表示される ID（USB ポートの位置）で区別できます。



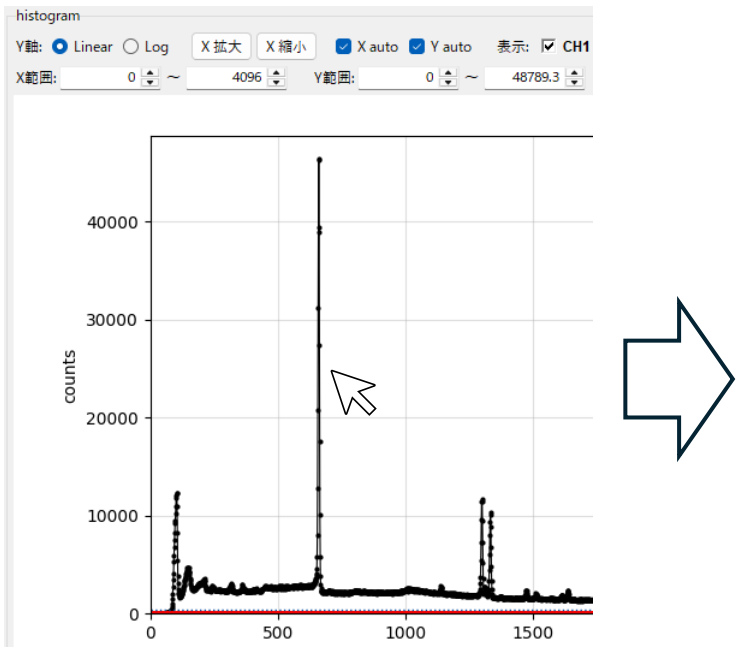
・ウィンドウサイズの拡大・縮小

ウィンドウは拡大・縮小でき、大きさに合わせて主要な文字サイズも変わります。

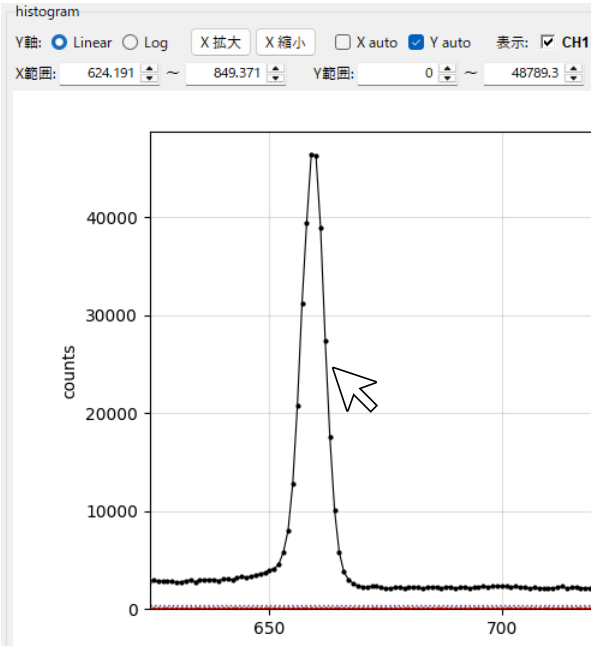


・操作性の向上

マウスホイールで、X 軸を拡大・縮小できます。

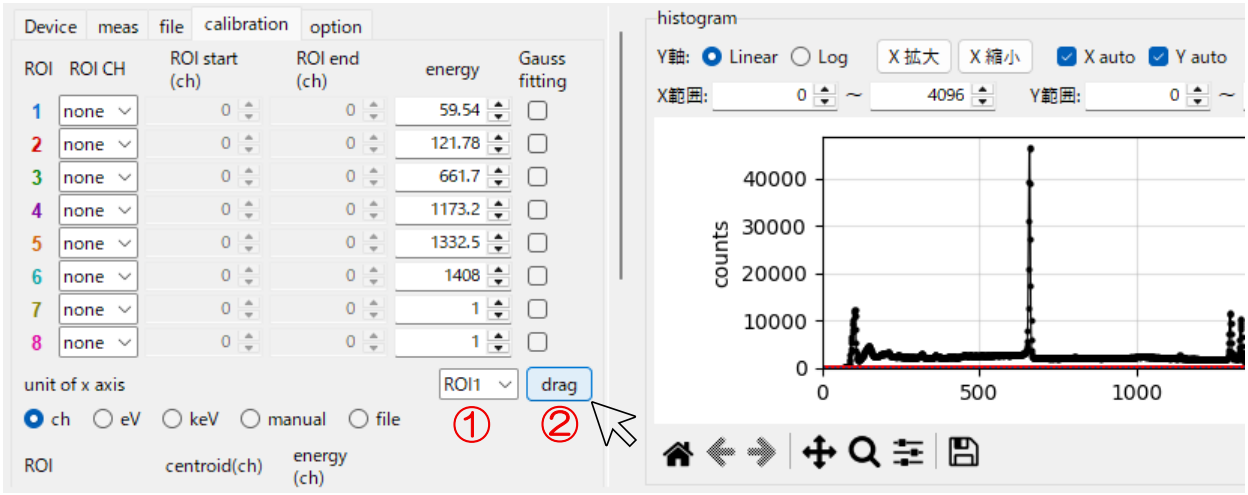


ズームしたい中心にマウスカーソルを置いて
マウスホイールを前に回すと

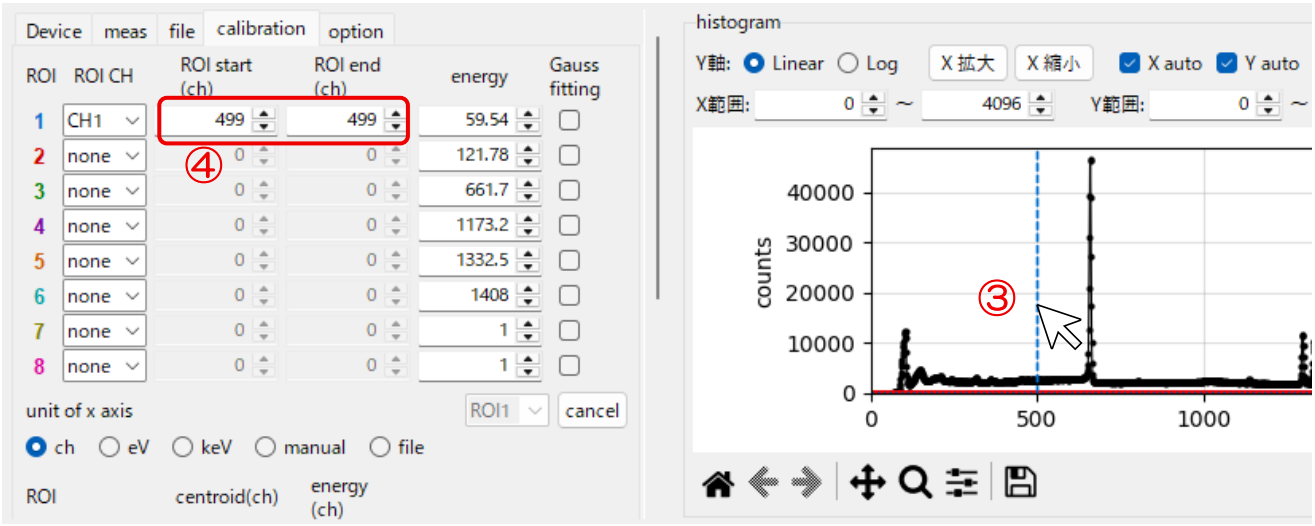


拡大表示

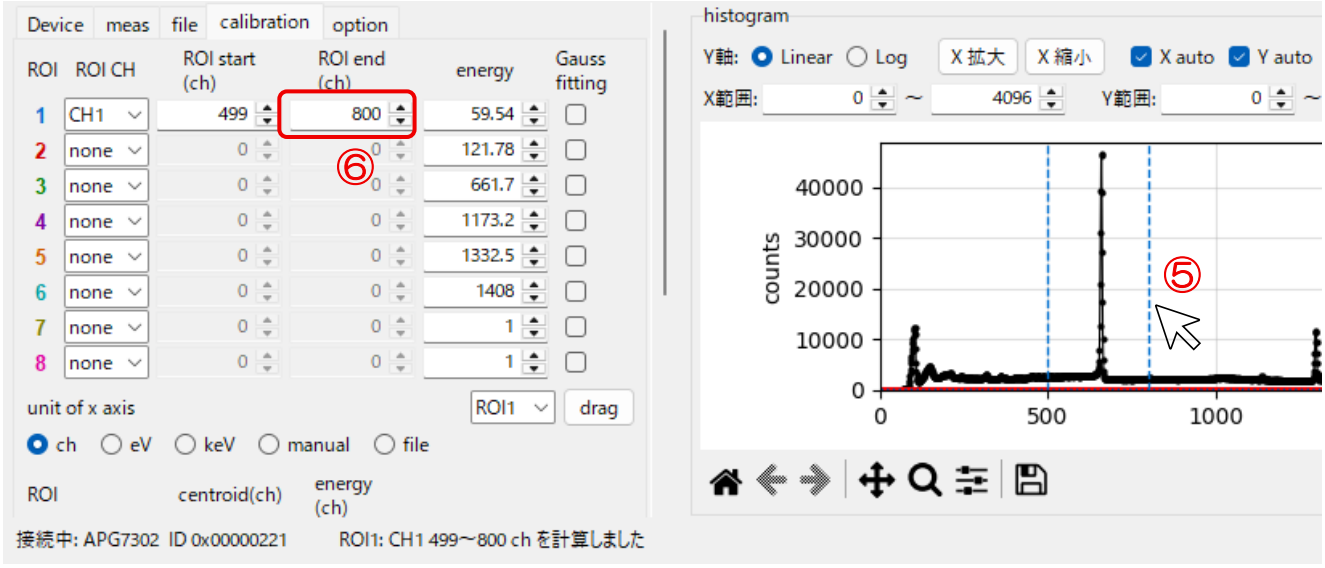
ROI カーソルの操作性も向上しました。



① ROI を選択後、② drag ボタンをクリック



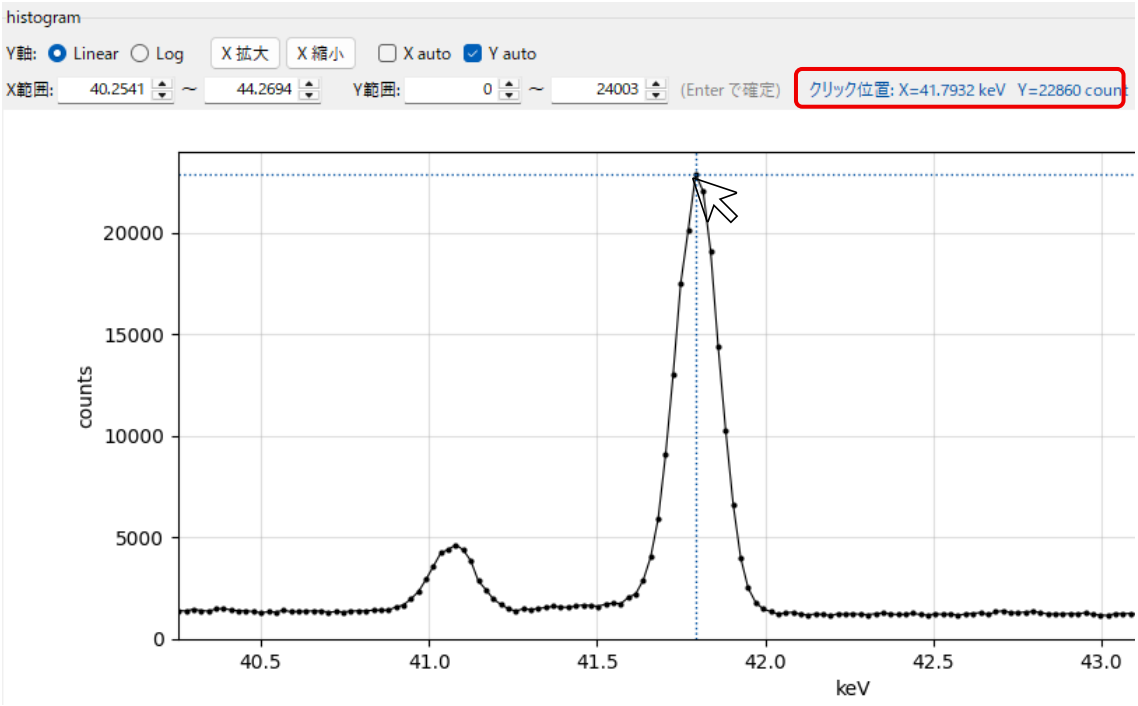
③ グラフ上の ROI start 位置で左マウスボタンを押下すると、④ ROI start, end 共に一時的に確定



⑤ 左マウスボタンを押下したまま ROI end 位置までドラッグすると、⑥ ROI end も確定

・情報表示の拡充

グラフ上をクリックすると、最も近いデータ点の位置とカウントを確認できます。



エラー時のポップアップや LED 表示だけでなく、画面下部には、操作結果などのメッセージを逐次表示します。



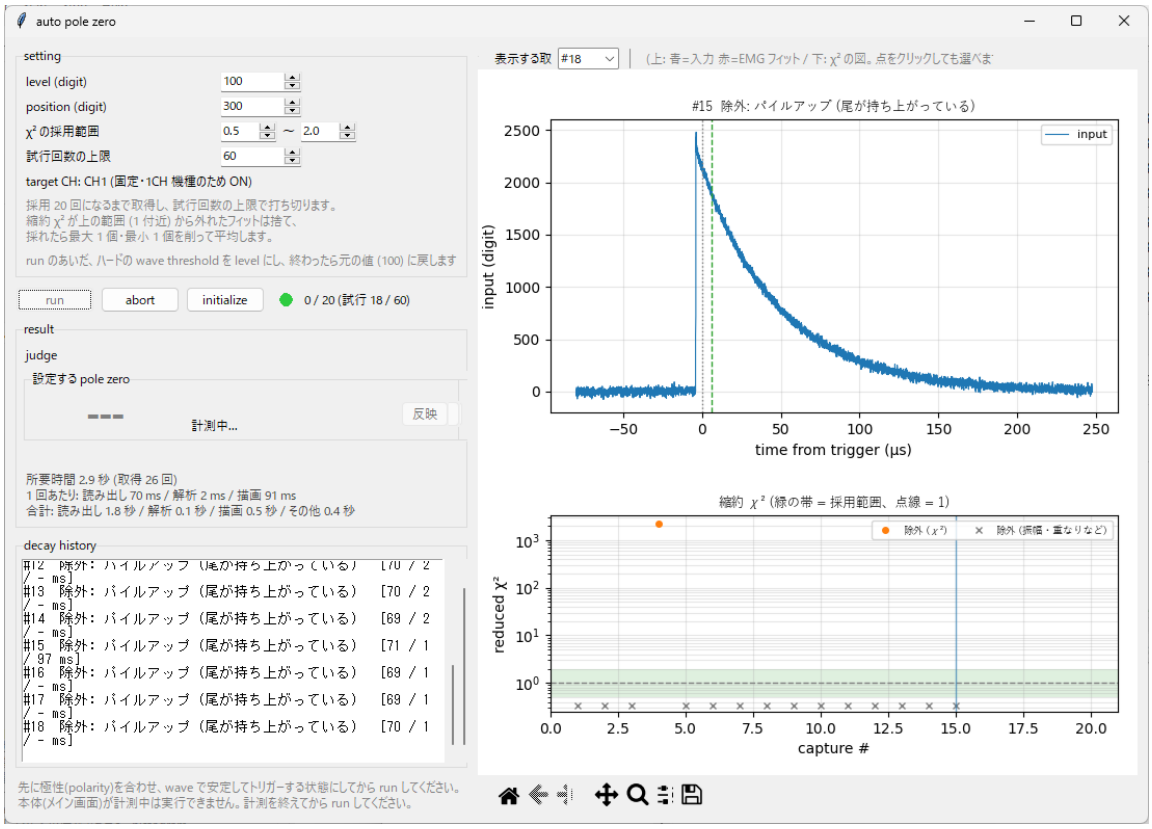
・導入の簡素化

追加パッケージをインストールすることなく、ZIP ファイルを展開するだけで、すぐに使用を開始できます。

あわせて、従来どおりのインストーラ形式も提供しています。

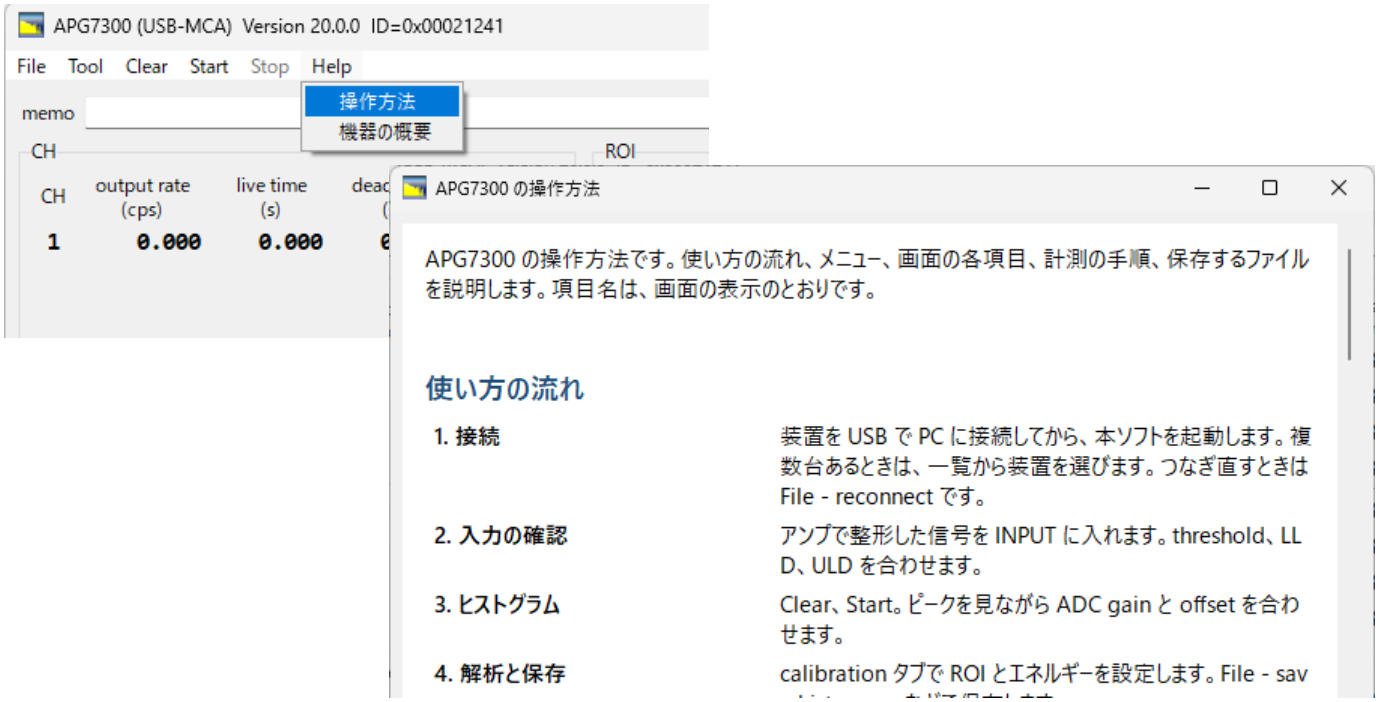
・ツールの追加提供

APG7305 では、これまで APU101G と APU101S にだけあった「auto pole zero」も使用できるようになりました。



・取扱説明へのアクセス向上

取扱説明書の PDF を探して開かなくても、Help メニューから操作方法や機器の概要を表示できます。



複雑なパラメータについては、設定欄の近くに説明文も付けています。

